

「スポーツ推進とみえ森と緑の県民税に関するアンケート」の実施結果報告

「スポーツ推進とみえ森と緑の県民税に関するアンケート」の結果を下記のとおり報告いたします。

アンケートにご協力いただきました回答者の皆様に厚くお礼申し上げます。

アンケート結果につきましては、今後の業務等の参考とさせていただきます。

アンケート概要

1 アンケート実施期間

平成 30 年 9 月 5 日（水）から平成 30 年 9 月 21 日（金）まで

2 回答率等

対象者数 1,145 人

回答者 782 人

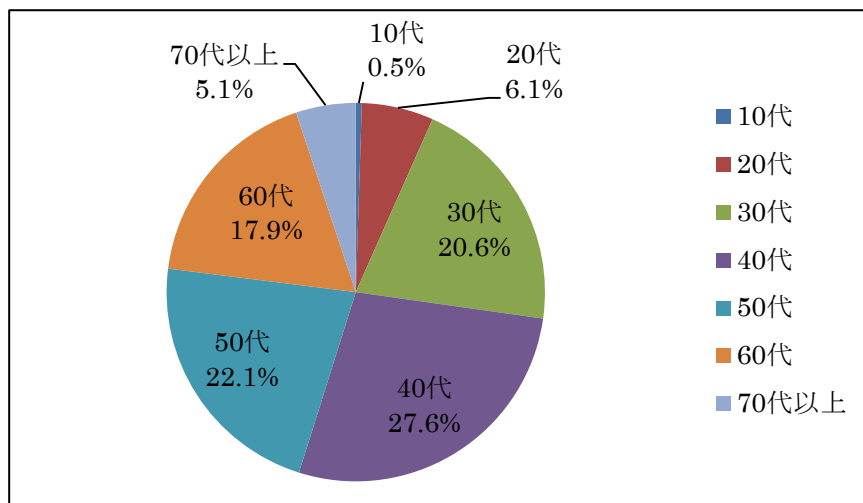
回答率 68%

3 回答者の属性

性別 【男性 395 人 (50.5%)】 【女性 387 人 (49.5%)】

【年代別】

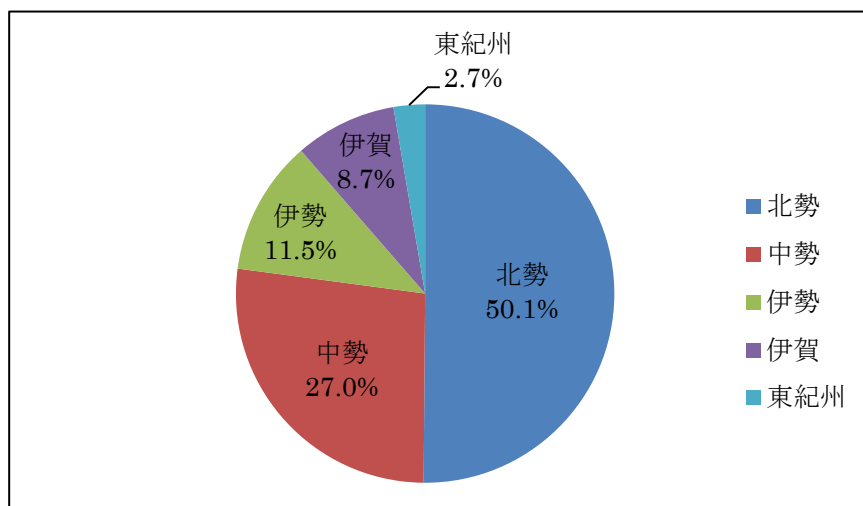
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
人数	4人	48人	161人	216人	173人	140人	40人
割合	0.5%	6.1%	20.6%	27.6%	22.1%	17.9%	5.1%



※割合は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

【地域別】

	北勢	中勢	伊勢志摩	伊賀	東紀州
人数	392 人	211 人	90 人	68 人	21 人
割合	50.1%	27.0%	11.5%	8.7%	2.7%



※北勢：四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、桑名郡、員弁郡、三重郡

中勢：津市、松阪市、多気郡

伊勢志摩：伊勢市、鳥羽市、志摩市、度会郡

伊賀：名張市、伊賀市

東紀州：尾鷲市、熊野市、北牟婁郡、南牟婁郡

※割合は少数点第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

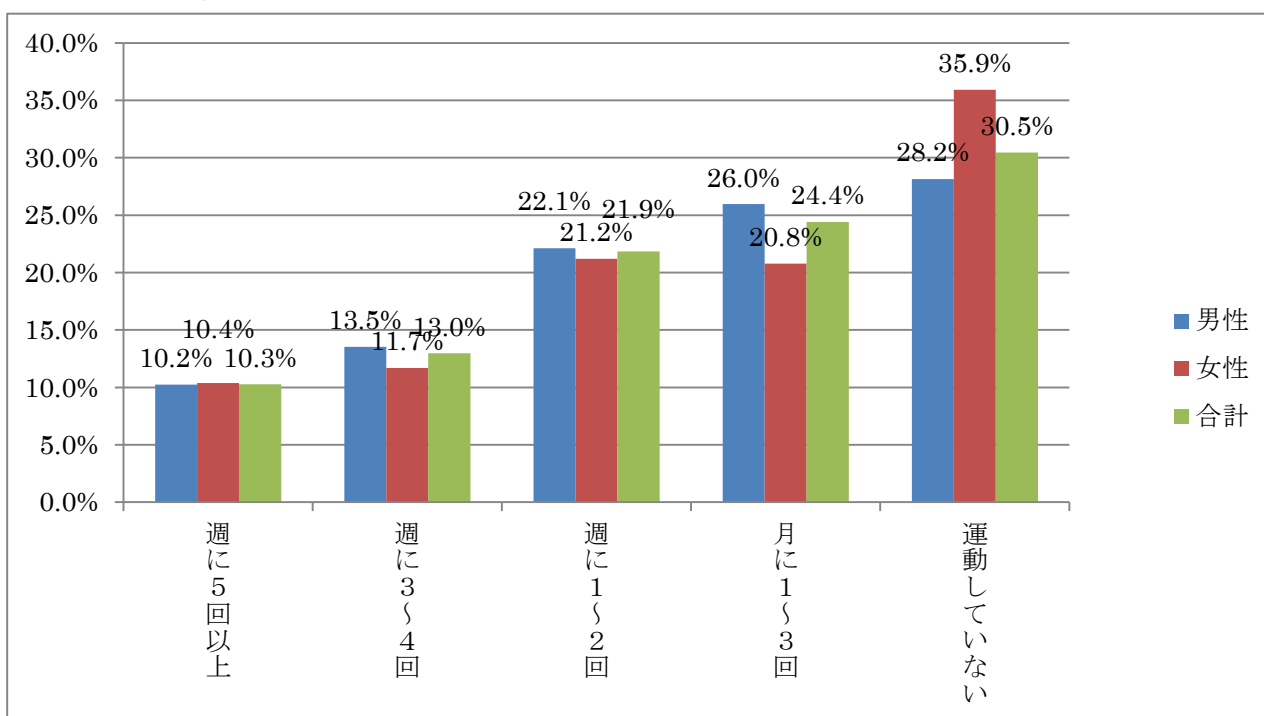
4 アンケート集計結果

(運動・スポーツの実施回数について)

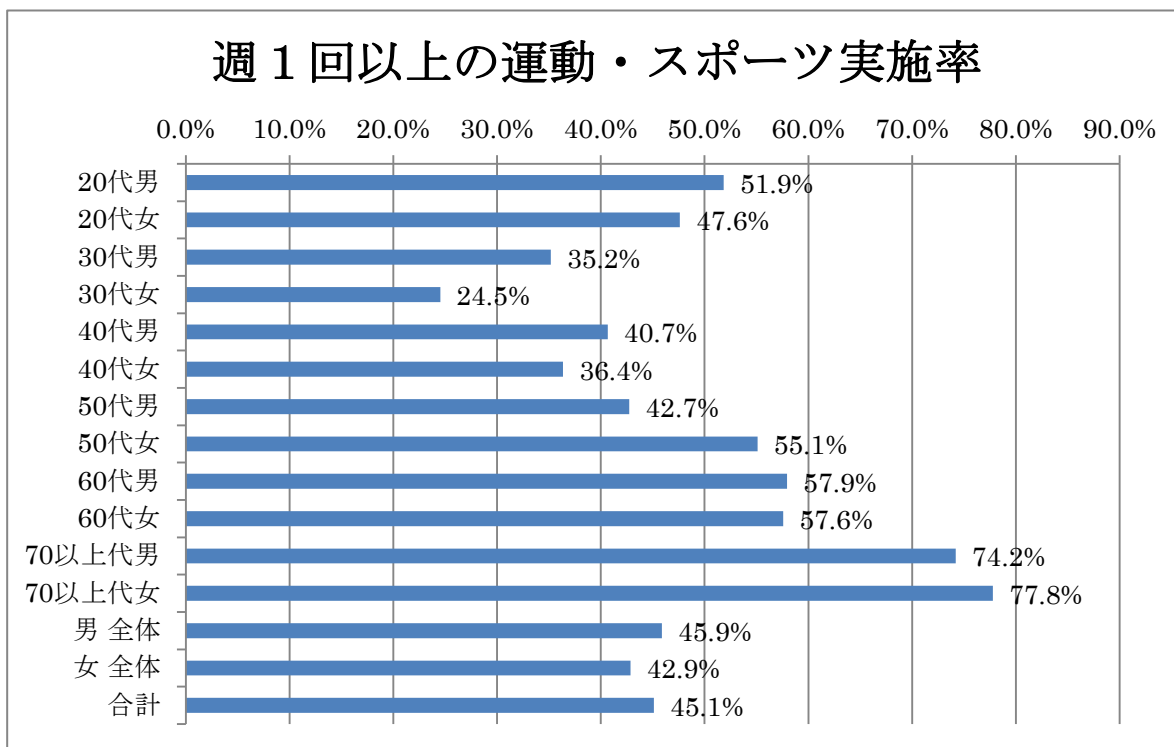
Q1 この1年間に運動やスポーツを実施した日数を全部合わせると、どの程度実施していますか。あてはまるものを一つ選んでください。

※運動やスポーツの例：少し長めの距離の徒歩や自転車による通勤・買い物、一駅歩き、階段昇降、体操（ラジオ体操、職場体操、美容体操等）、ウォーキング（散歩、ハイキングを含む）、釣り、ランニング、ゴルフ、テニス、バレーボールなどの様々な運動やスポーツ

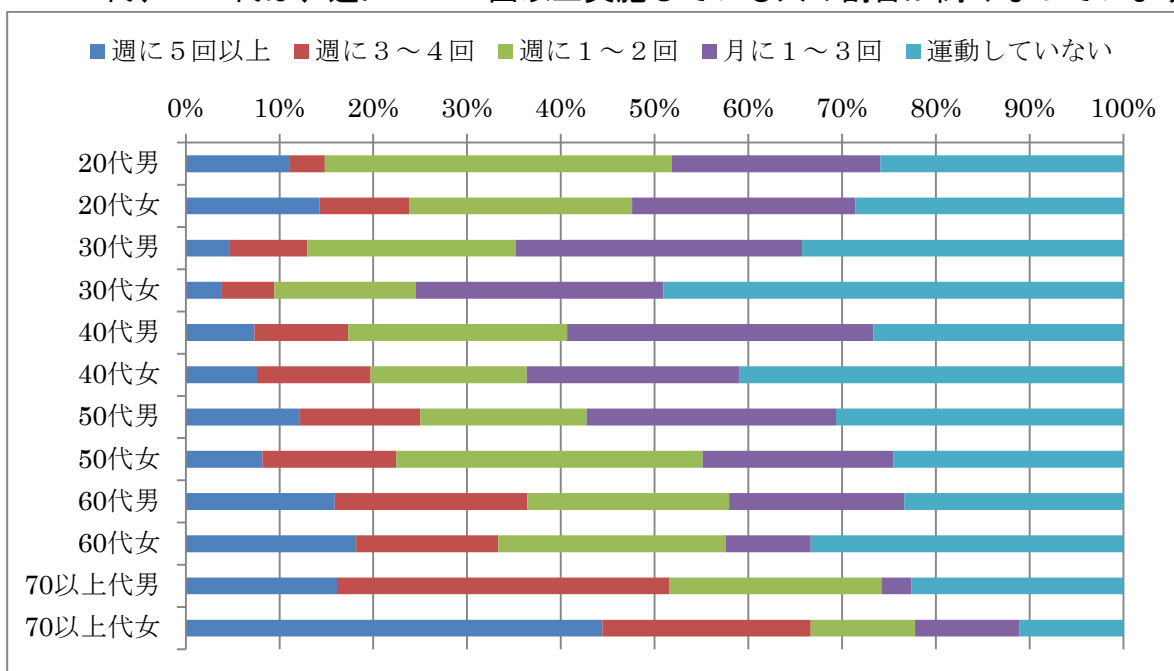
全体的に、男性の方が女性よりも運動・スポーツの実施回数が多く、運動している人については男女ともに、月に1～3回の実施割合が一番高くなっています。



週1回以上の運動・スポーツ実施率は、60代以上の年代が高い傾向にあります。
また、男性の方が、女性よりも実施率が高くなっています。



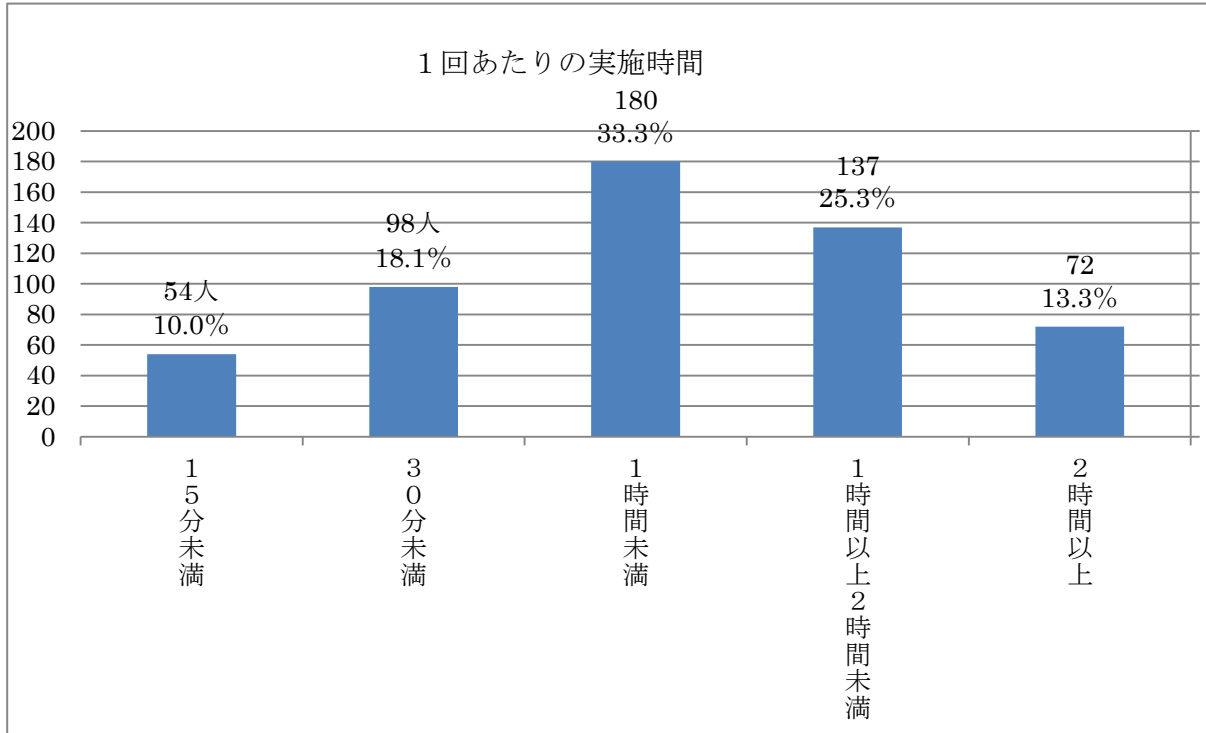
60代、70代は、週に3～4回以上実施している人の割合が高くなっています。



(運動・スポーツの実施時間について)

Q2 1回(1日に複数回に分けて実施する場合は、1日の合計時間。)あたりの運動またはスポーツの実施時間について、あてはまるものを1つ選んでください。

月に1回以上運動(「週に5回以上」～「月に1～3回実施」)していると回答した人では、1回あたりの実施時間が「1時間未満」と回答した人が最も多くなっています。



(運動・スポーツの内容について)

Q3 あなたが実施している運動やスポーツについて、あてはまるものをすべて選んでください。

実施している種目については、多い順で、「ウォーキング（散歩、ハイキングなどを含む）」が35.6%（277人）、「日常生活において、極力歩くこと又は運動することを心がけて実践している（自転車通勤など）」が22.8%（177人）、「体操（ラジオ体操、エアロビクスなど）」が17.6%（137人）となっています。

種目名	体操	ウォーキング	日常生活における運動	釣り	キャッチボール	ボウリング	ジョギング
男性	88	212	121	28	8	6	44
女性	49	65	56	0	1	2	9
合計	137	277	177	28	9	8	53

種目名	水泳	室内運動器具	スキー	登山	ハイキング	ゴルフ
男性	20	51	10	25	13	45
女性	8	14	1	5	2	5
合計	28	65	11	30	15	50

種目名	サイクリング	野球、ソフトボール	サッカー、フットサル	バレー、バスケット	テニス、卓球	その他
男性	28	10	9	10	19	41
女性	3	1	1	1	11	20
合計	31	11	10	11	30	61

備考 1：「その他」は筋トレ、ヨガなど

2：種目名は代表種目での表記としているため、設問の種目名とは表記が異なります

年代別にみると、20代では「日常生活における運動」、30代以上では「ウォーキング」を実施している割合が高い回答となっています。

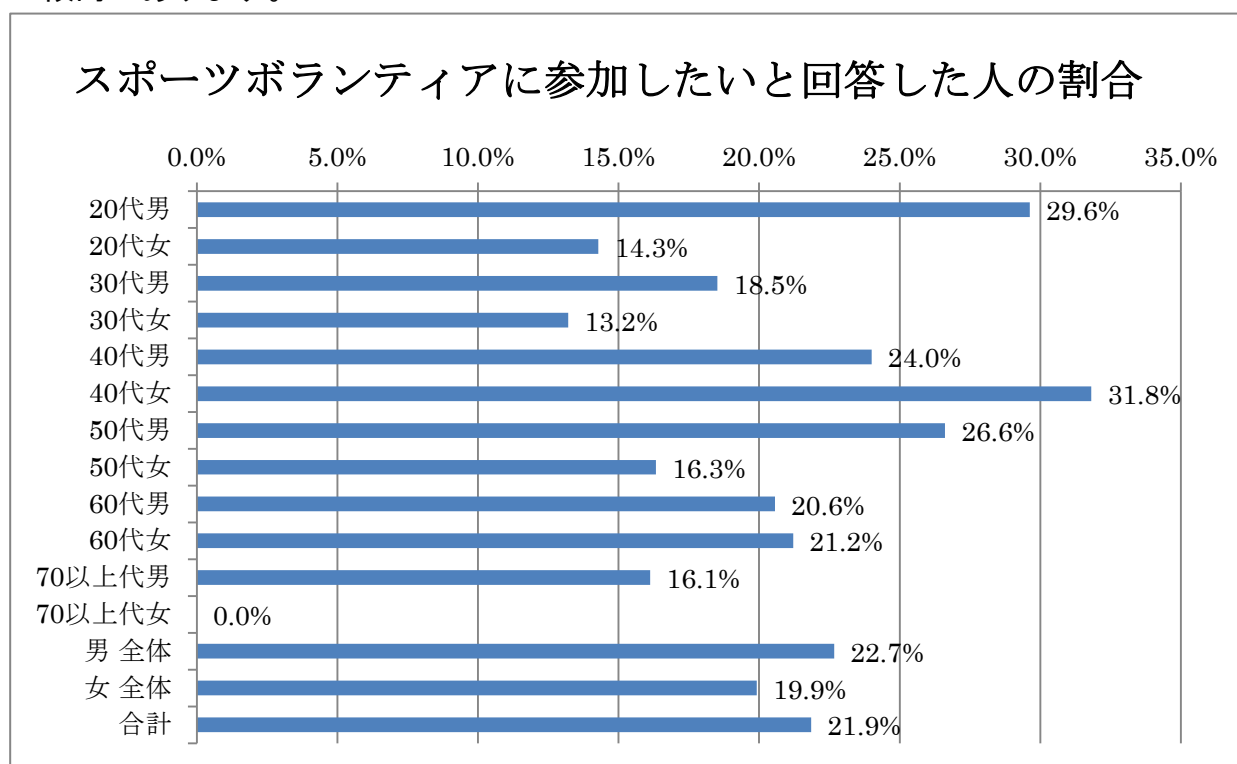
年代別の取組種目(上位5種目)

	1位	2位	3位	4位	5位
20代	日常生活における運動	ウォーキング	体操、ジョギング	室内運動	—
30代	ウォーキング	体操	日常生活における運動	ジョギング	室内運動
40代	ウォーキング	日常生活における運動	体操	ジョギング	室内運動
50代	ウォーキング	日常生活における運動	体操	室内運動	登山
60代	ウォーキング	日常生活における運動	ゴルフ	体操	室内運動
70代以上	ウォーキング	体操	日常生活における運動	ゴルフ	テニス、ソフトテニス、バドミントン、卓球

(スポーツボランティアへの参加について)

Q4 あなたは、三重県内で開催されるスポーツイベント(マラソン大会等)でのボランティア活動に参加したいと思いますか。

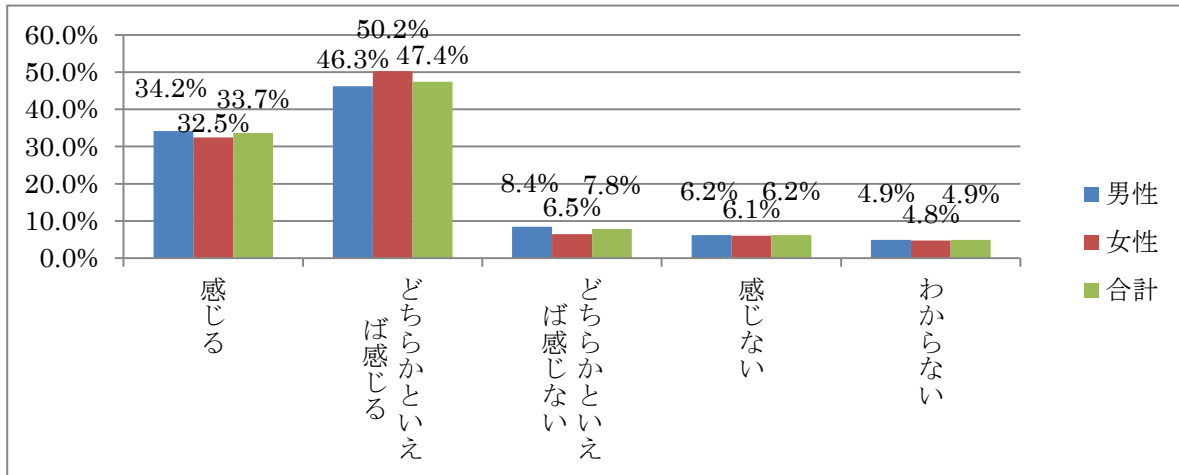
20代の男性や40代の女性が「参加したい」と回答した人の割合が高く、20代、30代、50代の女性や、70代以上の方が「参加したい」と回答した人の割合が低い傾向にあります。



(スポーツについて)

Q5 あなたは、スポーツを通じて夢や感動が生まれていると感じますか。あなたの実感に最も近いものを1つ選んでください。

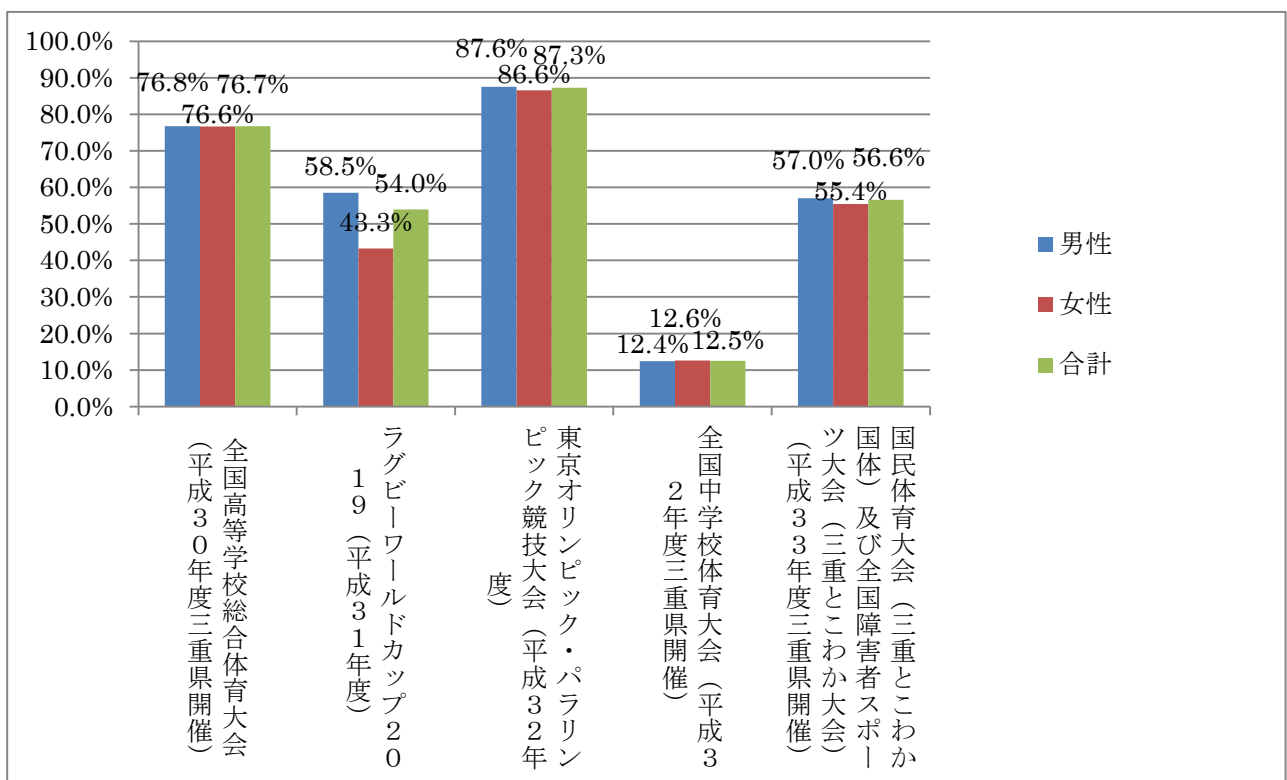
「感じる」または「どちらかといえば感じる」と回答した人の割合は男女とも80%を超えています。



(スポーツ大会について)

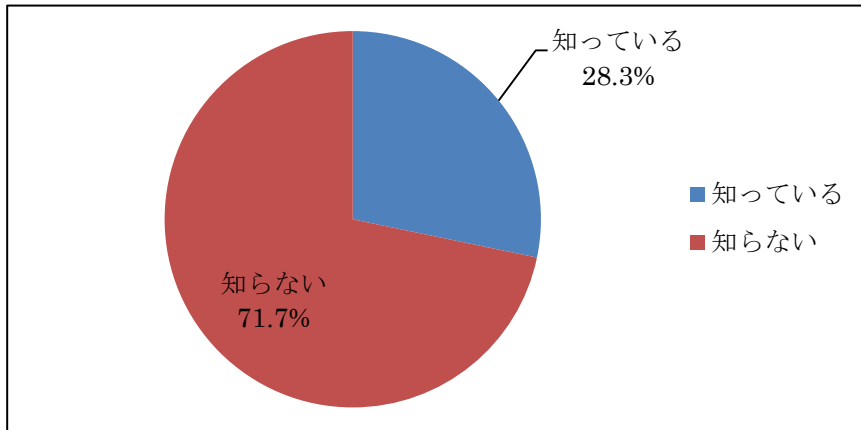
Q6 あなたは、つぎのスポーツ大会が行われることをご存知ですか。ご存じのものをすべて選んでください。

「全国中学校体育大会」においては、「知っている」と回答した人の割合が全体で12.5%と低い傾向となっていますが、「東京オリンピック・パラリンピック競技大会」においては、「知っている」と回答した人の割合が全体で80%超と高い傾向となっています。

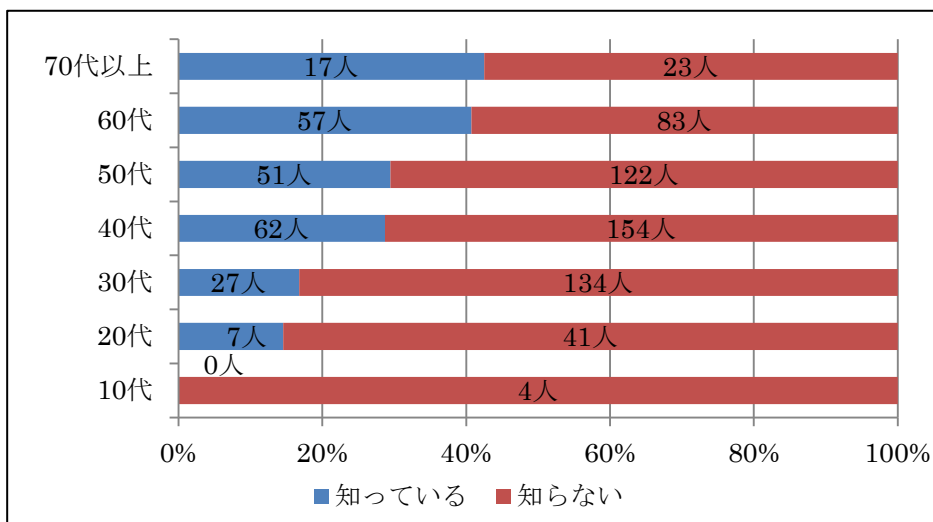


（「みえ森と緑の県民税」について1）

Q8 「みえ森と緑の県民税」は、個人と法人の県民税均等割に上乗せして納めていただいております。税額は、個人が年額1,000円、法人は資本金額に応じた県民税均等割の10%相当額（年額2,000円～80,000円）です。あなたは、「みえ森と緑の県民税」が課税されていることをご存じですか。



【年代別の認知度】



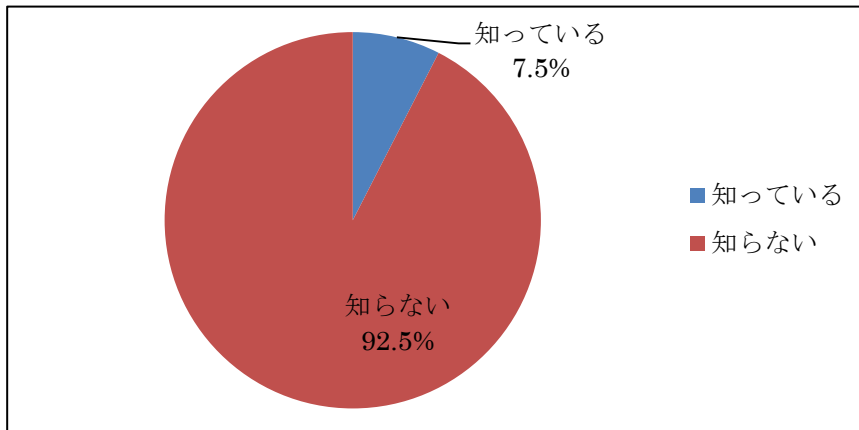
「みえ森と緑の県民税」の課税について約3割の方が「知っている」という結果になりました。年代別に比較すると、30代以下の世代では比較的認知度が低いという結果になりました。

今回の結果を踏まえて、幅広い年代のみなさまに認知していただけるよう、今後も取組の成果とあわせて発信してまいります。

（「みえ森と緑の県民税」について2）

Q9 「みえ森と緑の県民税」を活用した事業はすべて、第三者からなる「みえ森と緑の県民税評価委員会」による事業実施後の評価が行われており、その結果は県ホームページで公表されています。あなたは、このことをご存じですか。

※みえ森と緑の県民税評価委員会の開催結果等については、こちらのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.mie.lg.jp/SHINGIKAI/0346.htm>

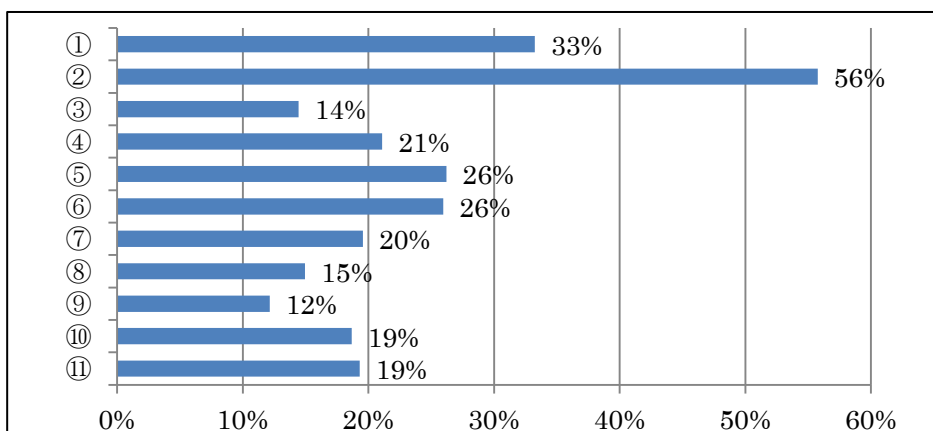


「みえ森と緑の県民税評価委員会」について「知っている」と回答した方は7.5%（59人）にとどまりました。

みえ森と緑の県民税は、その用途を明確にするために、これを活用した全ての事業について、みえ森と緑の県民税評価委員会が評価し、その結果を公表しています。このことについて、県民のみなさまに認知していただけるよう、発信してまいります。

（三重の森林づくりについて1）

Q10 県では「三重の森林づくり基本計画2012」に基づき、森林・林業に関するさまざまな施策を行っています。次の項目のうち、あなたが、特に関心のあることについて、すべて選んでください。



①「構造の豊かな森林」づくり

森林の多面的機能を高度に発揮し、持続可能な森林づくりを行うため、適切な森林整備を進めるとともに、広葉樹の森づくりや里山の整備など、多様な森林づくりが進んでいます。

②県民の命と暮らしを守る森林づくり

集中豪雨等から命と暮らしを守るための「災害に強い森林づくり」や、保安林制度や水源条例に基づく森林の適切な管理が進むとともに、獣害や病害虫対策、林野火災の防止に向けた取組が進んでいます。

③森林づくりを推進する体制の強化

市町と連携し、森林計画制度の適正な運用を図ります。また、森林 GIS 等による正確な森林情報（所有者、森林境界など）の把握と活用、公益的機能の発揮が強く求められる森林の公的管理が進んでいます。

④林業及び木材産業等の振興

利用期を迎えた森林資源を活用し、林業及び木材産業等を活性化するため、循環型林業の実現に向けた取組が進んでいるほか、林業の生産性の向上など、林業・木材産業の競争力強化が図られています。

⑤森林・林業・木材産業や地域を担う人づくり

高いスキルを持った担い手の育成や新たな担い手の確保がなされています。また、地域を担う経営意欲の高い林業事業者の育成や地域振興の視点を持った人づくりを進めます。

⑥県産材の利用の促進

暮らしの中のさまざまな場面で県産材が利用されるよう取組が進んでいるとともに、木材輸出等の新たな需要への対応、バイオマス発電等のエネルギー利用に向けた安定供給体制の構築が進んでいます。

⑦森林文化の振興

森林との豊かな関わりを持てるよう、森林や自然、森林文化の持つ魅力を生かした情報発信や観光誘客の取組など、森林と親しめる環境づくりや山村地域の新たな魅力づくりを進めます。

⑧森林環境教育・木育の振興

森林・林業に対する県民の理解と関心を深めるため、森林や木と気軽にふれあえる環境の整備や学習機会の提供、森林環境教育等の指導者の育成等を行います。

⑨県民、NPO、企業等の森林づくり活動の促進

「森林は大切」という意識が「森林を守る」という具体的な行動につながるよう、さまざまな主体による森林づくりが促進される環境を整備します。

⑩木づかいの促進

「木に親しみ、ふれる」機会の拡大を図るとともに、県産材を利用する意義を積極的に発信し、社会全体で共有することで木づかいの促進を図ります。

⑪特に関心のあることはない

「②県民の命と暮らしを守る森林づくり」に56%（436人）の方が、「①「構造の豊かな森林」づくり」に33%（260人）の方が、「関心がある」と回答されました。一方で、③森林づくりの体制強化や、⑧森林環境教育等の振興、⑨県民等による森林づくり活動の促進、⑩木づかいの促進に「関心がある」方は20%未満にとどまりました。また、19%（151人）の方から「⑪特に関心があることはない」と回答がありました。

土砂流出の防止や水源のかん養をはじめとした森林の多面的機能は、適切な森林整備により高度に発揮されます。

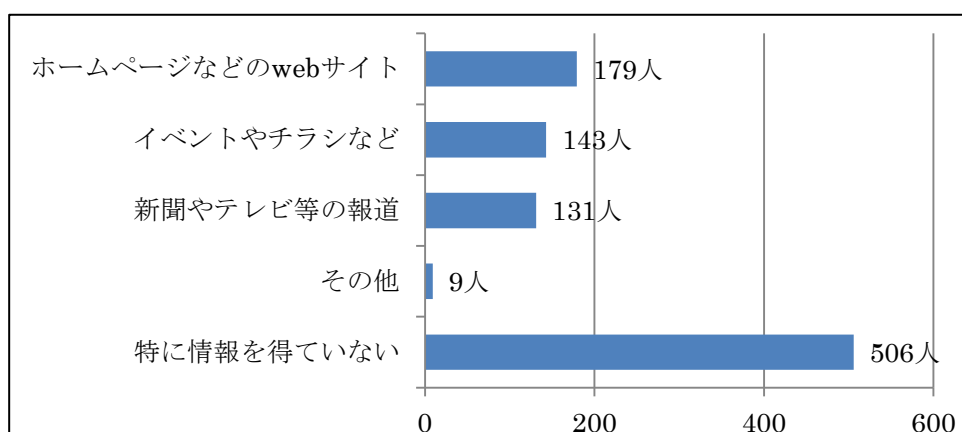
三重県の森林の約 6 割は人工林であり、適切な森林整備を持続するためには林業等の振興が欠かせませんが、林業により適切に森林を管理するためには、森林の現状を正確に把握し、計画的に森林整備（林業）が進められる体制の強化が重要です。

また、一人ひとりが森林・林業のさまざまなことについて関心をもち、森林を守るために積極的に木製品を選択したり、森林づくりに参加したりすることが、林業等の産業を支えたり、暮らしに身近な里山や竹林などが適切に整備されることにつながります。

このことについて県民のみなさまにお知らせし、森林・林業に関する幅広い内容に関心を持っていただけるよう、引き続き発信してまいります。

（三重の森林づくりについて 2）

Q 1 1 あなたは、三重の森林づくり（三重県の森林・林業）に関する情報をどこから得ていますか。あてはまるものをすべて選んでください。



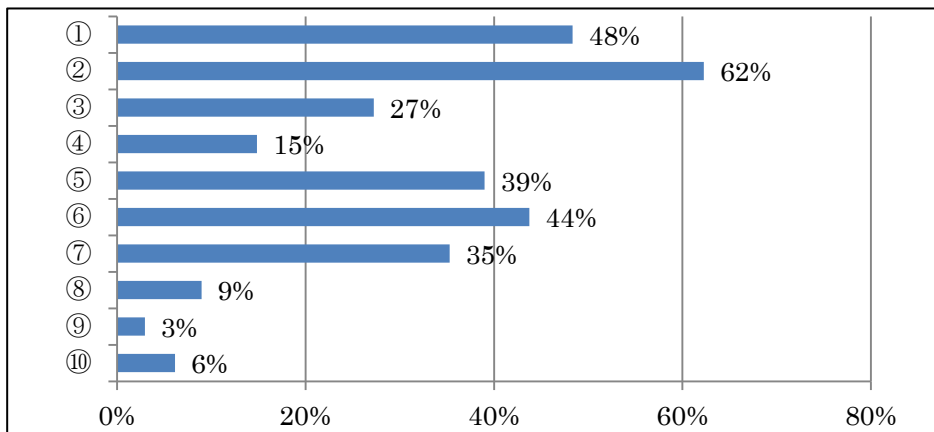
「その他」の内容

- ・ 県や市町、関係団体の広報や会報誌等

三重の森林づくりに関する情報を得ている方の情報を得る手段（「webサイト」「イベントやチラシなど」「新聞等の報道」）に大きな差異はありませんでした。一方で、半数以上の方（506人/782人）が「特に情報を得ていない」と回答されました。今回の結果を踏まえて、今後の情報発信の方法を検討してまいります。

（三重の森林づくりについて 3）

Q 1 3 林業などを通じて森林を適正に管理し、健全な森林を将来に残すためには、多くの方が森林と私たちの暮らしの関わりを理解し、森林保全に関わったり、木材を利用したりすることが大切です。あなたは、森林・林業についての理解を深めるために、どのような方法が有効だと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。



- ① 幼児期から森林などに親しむ野外体験
- ② 小中学校における森林のはたらきなどを学ぶ森林環境教育
- ③ 県や市町が主催する森林公園や里山等における自然観察会
- ④ 乳幼児期から三重県産木材に親しむための玩具などの配布
- ⑤ 小中学校における三重県産木材を使った木工体験
- ⑥ 森林公園など、森林に親しめる場所や使いやすくするための取組
(歩道やベンチの整備など)
- ⑦ 幼稚園や保育園、小中学校、図書館、公民館など、身近な公共施設などにおける
三重県産木材の利用 (内装木質化、木の家具や遊具の設置など)
- ⑧ 森林・林業に関する講演会
- ⑨ その他
- ⑩ いずれも有効だと思わない

「その他」の主な内容

〔森林に親しむ場所をつくることに関するご意見〕

- ・紅葉の森、昆虫の森など、森林にかかわりたいと思えるような森林づくりを行う。
- ・周りの森林がよくわかり、楽しんで歩けるハイキングコースをつくる。

〔林業についての理解を深めることに関するご意見〕

- ・wood job (林業についての映画) が良かった。
- ・林業に関する観光施設や宿泊施設、道の駅など、集客が見込める拠点をつくる。

〔木材利用についての理解を深めることに関するご意見〕

- ・三重県産材を使った建築を奨励する。
- ・間伐材を使った製品を学校生活や給食などに取り入れる。

〔情報提供に関するご意見〕

- ・とにかくプロモーション活動をする。
- ・三重県の森林保全の取組や状況を広報する。

いただいたご意見は、今後の情報発信や森林・林業について知っていただくための取組を検討していくための参考とさせていただきます。